

Çalışma Takvimi

Dersin Kodu ve Adı: JPN419 Klasik Japon Edebiyatı

Hafta: 12

Haftalar	Haftalık Konu Başlıkları
12.Hafta	Yastukname hakkında

枕草子

清少納言

第一段

春はあけぼの

やうやう白くなり行く 山ぎは少しあかりて
紫だちたる雲の細くたなびきたる

夏は夜

月のころはさらなり
やみもなほ、ほたるの多く飛びちがひたる
また、ただ一つ二つなど
ほのかにうち光りて行くもをかし
雨など降るもをかし

秋は夕暮

夕日のさして山の端いと近うなりたるに
烏の寝どころへ行くとして
三つ四つ、二つ三つなど飛びいそぐさへ あはれなり
まいて雁などのつらねたるが
いと小さく見ゆるはいとをかし
日入りはてて 風の音 虫の音など
はたいふべきにあらず。

冬はつとめて

雪の降りたるはいふべきにもあらず
霜のいと白きも またさらでも
いと寒きに 火などいそぎおこして
炭もてわたるもいとつきづきし
昼になりて
ぬるくゆるびもて行けば
火桶の火も白き灰がちになりてわろし